

事 務 連 絡
平成23年12月 5日

(社) 岡山県医師会 御中
(社) 岡山県病院協会 御中

岡山県保健福祉部健康推進課
生活衛生課

感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルスの予防について

このことについて、厚生労働省健康局結核感染症課及び医薬食品局食品安全部監視安全課から、別添のとおり連絡がありましたのでご了解願います。

本県の感染性胃腸炎の発生状況についても、43週から47週（10月24日から11月27日まで）にかけて5週連続で増加しているところです。

つきましては、ノロウイルスによる感染性胃腸炎が急増するシーズンを迎えることに鑑み、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の発生予防とまん延防止を図るため、貴会員への周知についてよろしく願います。

なお、岡山県内の感染性胃腸炎の発生状況、保健福祉施設等におけるノロウイルス感染防止チェックリスト、ノロウイルスによる食中毒予防等については下記のホームページに掲載しておりますので参考にして下さい。

記

○感染症情報センター（感染性胃腸炎発生状況等）

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=309

○健康推進課（保健福祉施設等におけるノロウイルス感染防止チェックリスト等）

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=36

○生活衛生課（ノロウイルスによる食中毒予防等）

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=37



事 務 連 絡

平成 23 年 12 月 2 日

各 { 都道府県
保健所設置市
特別区 } 衛生主管部 御中

厚生労働省 健康局 結核感染症課
医薬食品局 食品安全部 監視安全課

感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルスの予防啓発について

日頃より感染症及び食中毒に係る調査等へのご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
感染性胃腸炎の患者発生は、例年、12 月の中旬頃にピークとなる傾向となっており、本年も、感染性胃腸炎の定点当たりの届出数が、第 42 週以降増加しております。

この同時期に発生する感染性胃腸炎のうち、特に集団発生例の多くはノロウイルスによるものであると推測されており（国立感染症研究所感染症情報センターホームページ <http://idsc.nih.gov/iasr/noro.html> 参照）、今後のノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒の発生動向には注意が必要な状況となっております。

つきましては、ノロウイルスによる感染性胃腸炎が急増するシーズンを迎えることに鑑み、「ノロウイルスに関する Q&A」を参考に、地域住民や社会福祉施設等に対し、手洗いの徹底や糞便・吐物の適切な処理等の感染予防対策の啓発に努めるようお願いいたします。

なお、これまで感染者が食品の調理に従事することによる食中毒も多発していることから、関連通知を参考にノロウイルスによる食中毒の発生防止対策にも留意願います。

(参考)

ノロウイルス検出状況 2011/12シーズン

<http://idsc.nih.gov/iasr/noro.html>

ノロウイルスに関する Q&A（最終改定：平成 23 年 5 月 29 日）

<http://www.mhlw.gov.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>